



1 はじめに

英語4技能検定のID登録の件につきましては、文書でもお知らせしたとおり、急遽中止となりましたので、申込書等についても、すべて該当生徒に返却を完了致しました。

昨今の教育改革によって、受験生は振り回されておりますが、学生にとっては全国の皆さんがみな同じ環境ですので、特に不利なことはございません。国の進める教育改革の方向性についてはこれまで通り推進されている様子ですので、無用な情報に煽られずに、落ち着いて対応していただきたいと思います。ご不明の点等ございましたら、お問い合わせください。

2 3年生の2020年度入試

いよいよ入試本番まであと50日あまりとなって参りました。今年はセンター試験の最終年となり、メディアでも大きく取り上げられてきましたので、受験生も「浪人はできない」と勝手に思い込んでいる節がございますが、センター試験から共通テストへの変化はわずかであり、大きな変化ではありませんので、次年度のことはあまり心配せず、志望する大学を目指して集中して努力して欲しいと願っております。

日程的には、昨年と変わりありませんので、12月は年末(12/24～26)に課外授業があり、12/30まで学校が開放されております。また正月は1/2～自習できる環境となっております。

外部模試はもうありませんが、12月末に青バック、1月初めにKバックという直前テスト(プレテスト)を予定しており、力試しをする機会は用意されておりますので、緊張感を維持して、直前まで努力して欲しいと思います。

大学の志願状況は、すでに報道されておりますが、**私立大学が難化、国公立大学が易化**していると言えます。定員厳格化の影響により、首都圏のみならず地方の私立大学も倍率が上がり、難化しています。一方国公立大学は、受験人口の減少等の影響により、易化してきています。地方国立大学の中には、昨年倍率が急上昇した大学もありますので、ご注意下さい。入試情報は常に変化していくものですので、情報を早めにキャッチして正確に判断して下さい。

この時期の3年生には、次の点に配慮して過ごして欲しいと思います。

- ① インフルエンザの予防接種を早めに受ける。
- ② 健康が第一。睡眠不足や偏った食事にならないよう配慮して生活する。
- ③ あきらめたら、そこで終了。最後まで逆転はあると信じて、努力する。

なお、センター試験会場は、多くの学校が同じ会場に集まるため、大変混雑します。公共の交通機関を利用させて下さい。車による送迎が必要な場合は、会場から離れた場所で乗り降りし、速やかにその場を離れて下さい。保護者がお見送りする場所はありませんので、ご遠慮下さい。

3 1年生、この時期

2学期になり、高校生らしい時間を過ごしていることと思います。勉強も部活もと両立を目指して欲張って生活しているため、毎日が忙しく、めまぐるしく過ぎていることと思います。

受験して大学に**進学するという目標を達成するためには、勉強する時間を確保することが絶対に必要です**。自分の生活を見直し、予習・復習する時間、模擬テストのやり直しをする時間が作れるように、生活を見直すことが最優先です。

また、文理選択の時期も間もなくです。この選択によって受験できる大学・学部の範囲が大きく変化しますので、慎重に情報を集めて、お子様とも十分に相談したうえで決めて下さい。2年生になってから変更することはできませんので、慎重に、冷静に判断して下さい。

先日初めての實力テストも体験しました。定期テストとは違うレベルの問題を解いたことで、進学の難しさを肌で感じたことと思います。外部模試と合わせて、少しずつ受験の厳しさや受験のレベルを感じていくことができます。

帰宅後のお子様と学校の勉強や進路についてお話する時間を取っていただき、学校での出来事を題材にしてお話していただければと思います。

4 2年生、この時期

2年生は、自分たちの受験までちょうど1年という時期を迎えました。少しずつ本番を意識するようになってきたと思います。3年生の後ろ姿から、大切なものを感じ取って欲しいと思います。

11月模試から5教科での受験となったため、**必要な勉強時間が格段に増加しています**。校内實力テストでも同様のことが発生していますので、生徒達はその変化に驚いていることでしょう。

しかし、ここからは必要とされる学習時間は増える一方です。甘い世界ではないのです。全国の高校生が入りたい大学に向けて努力を始めますので、そのスピードについて行けないと、差が広がるばかりです。今から、ここから、受験勉強をスタートしなければならない、と認識して欲しいと思います。

一方、部活動でも中心的な立場となっているため、こちらでも後悔のないように頑張りたい、と感じていることでしょう。**本校生の一番の悩みどころはここにあります**。文武両道を目指し、最後まで部活動をやり抜く、という**夢**と目標とする大学に妥協を狭まず、最後には合格を勝ち取りたいという**夢**が、同時に叶えられるためにはどうすれば良いのか、真剣に悩み抜いて欲しいと思います。

幸いにして、本校には最後まで支え合う仲間があり、部活動等で得た心の繋がりがあります。先輩達も通ってきた道です。現在の生徒達にも実現できないはずはありません。先輩達の努力の素晴らしさを想像しながら、その大きな壁に正面から立ち向かって欲しいと願っています。

くじけずに、粘り強く、「あきらめの悪いのが石高スタイル」と唱えて、2つの夢を現実のものとして実現していって欲しいと思います。

5 主体的な学びとは

今年から学習合宿をなくし、大学企業研究所訪問も廃止しました。学校が**与える学び**ではなく、生徒自身が課題を発見し、**自らの取り組みで解決していく**、という主体的な学びが今年から始まったためです。学年部会やPTA総会でも学校長から説明があったとおり、教育改革が求めている高校生の学びを実践していくために、そして新たな時代の石橋高校の礎を築いていくために、大きな舵取りがされました。

主体的に学ぶということは非常にわかりにくい表現と思われがちですが、とてもシンプルで具体的です。ただ、席に座って教えてくれるのを待つのは、鳥の巢の雛と同じです。えさの種類を選べないし、量も自由になりません。また、空を飛んでいるようだが、グライダーはひもで引かれているので一定の範囲を抜けられず、引く人の力加減で高さも決められています。

今求められている学びは、巢を出て、自らえさを探す雛鳥の行動であり、グライダーの糸を切っても飛び続けられるエンジンや技術を身につけることなのです。マニュアルがないと道具を使えないのではダメなのです。工夫し、試行錯誤して解決しなければならない。多少失敗してもそこから学び、多くの経験を得ていかねばなりません。

世界から学んで先進国の仲間入りをする時代は終わりました。世界の問題を率先して解決し、世界をリードする人材を生み出す国にならねばならないのです。**誰も経験したことのない**、環境問題や人口問題、国際化の問題、少子高齢化の問題など、前例のない、誰も解決策のわからない課題に取り組み、多くの人々と議論し、世界を導く日本を目指すのです。その一步を国が踏み出し国民の教育を変えようとしています。石橋高校の諸君も大いにリーダーシップを発揮し、日本を引っ張って欲しい。世界を見よう。人類を考えよう。「Boys, Be Ambitious!!」

(進路指導部)